

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年11月2日(2022.11.2)

【公開番号】特開2021-69643(P2021-69643A)

【公開日】令和3年5月6日(2021.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2021-021

【出願番号】特願2019-197753(P2019-197753)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月24日(2022.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

開閉可能な可変始動口が通常遊技状態のときよりも開放し易い特定遊技状態とすることが可能な遊技状態制御手段と、

表示部に所定の演出画像を表示可能な表示手段を含む演出手段を用いて、所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を有する遊技機であって、

前記演出実行手段は、

前記可変始動口への遊技球の入球に応じて変動条件が成立すると、識別情報の変動表示を行った後、所定の態様で停止表示するものであり、

前記特定遊技状態では、前記表示部に、前記可変始動口に向けて遊技球を発射させることを指示可能な特定表示を表示可能であり、

前記特定表示を、所定の特定条件が成立しているときと、前記特定条件が成立していないときとで異なる態様で表示可能であり、

前記特定条件は、変動表示の保留数がその上限である保留上限状態であることに応じて成立することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

前記遊技状態制御手段は、前記識別情報の変動表示の時間を、第1時間とするときと、前記第1時間よりも長い第2時間とするときとがあり、

前記特定条件は、前記保留上限状態であり、かつ、前記識別情報の変動表示の時間が前記第2時間であることに応じて成立することを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項2に記載の遊技機であって、

前記遊技状態制御手段は、

前記識別情報を特定態様で停止表示すると、開閉可能な可変入賞口の開放を伴う大当たり遊技を実行するものであり、

前記識別情報の変動表示の時間を前記第2時間とした方が、前記第1時間としたときよりも、前記識別情報を前記特定態様で停止表示する可能性が高いことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機は、

開閉可能な可変始動口が通常遊技状態のときよりも開放し易い特定遊技状態とすることが可能な遊技状態制御手段と、

表示部に所定の演出画像を表示可能な表示手段を含む演出手段を用いて、所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を有する遊技機であって、

前記演出実行手段は、

前記可変始動口への遊技球の入球に応じて変動条件が成立すると、識別情報の変動表示を行った後、所定の態様で停止表示するものであり、

前記特定遊技状態では、前記表示部に、前記可変始動口に向けて遊技球を発射させることを指示可能な特定表示を表示可能であり、

前記特定表示を、所定の特定条件が成立しているときと、前記特定条件が成立していないときとで異なる態様で表示可能であり、

前記特定条件は、変動表示の保留数がその上限である保留上限状態であることに応じて成立することを特徴とする。

10

20

30

40

50